体育祭

昨年より拡大された今年の体育祭。新たな競技が追加され、
大盛り上がりの様子はまるでコロナ禍の収束を彷彿とする様子であった。
特に今年は競技として多くのリレーが行われた。

部活動対抗リレー

普段は関わる事が少ない運動部と文化部が対抗して走り大いに盛り上がった。
どの部活動も走る姿は、個性に溢れ、勝負よりもいかに場を盛り上げるかというパフォーマンスの様であった。
生徒だけでなく先生達も走り、共に楽しい時間だった。

↑　ラグビー部とハンドボール部の接戦

→防具を着て走る剣道部

騎馬リレー

→担いで次の人に繋ぐ

ムカデリレー

→紫団、息を合わせ次へ

大縄

団員全員が力を合わせ、記録を残した大縄。　普段関わることが少ない学年同士が協力する様子はとても新鮮であった。
昨年の体育祭でも大縄の競技は開催されていたが、今年はマスクが解除されたこともあり、選手の表情が分かって楽しそうな様子が見れた。
跳んでいる最中に、他の学年からの応援が響き渡っており選手は、とても元気づけられていただろう。

→息を合わせて記録を上げる

綱引き

盛り上がりを見せた綱引き。
選手や応援する団員以外に先生までも、盛り上がる光景が見られた。

→1～3年が力を合わせる

昨年まで行われなかった綱引きが復活。１、２年生にとって、初の綱引きは充実した様子であった。
３つの学年が力を合わせて相手の団と戦う姿はとても白熱した戦いぶりだった。
また、勝負を通して学級や学年同士で絆が深まっている様子も見られた。

コロナ禍の時は綱引きの様な至近距離の競技だけでなく、競技の応援も禁止されていた。だが、今年に入り規制が緩和された事でコロナ禍以前の盛り上がりに戻りつつある。

↑　隣からの声援がとても熱い

→各団、勝利の要。大声援にこたえて